

普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)1月31日

所属名：大津・南部農産普及課

番号：A22015

部門分類：150 野菜

発信者名：那須、中村、坂尾、大崎

イチゴ新品種「みおしずく」栽培研修会を開催

イチゴ新品種「みおしずく」の本格栽培が令和5年3月から開始されます。当課では、市場出荷に向けて生産者が関係機関と連携し、品種特性に合わせた栽培を開始できるよう、「みおしずく」栽培予定者を対象に栽培研修会を開催しました。



令和5年1月19日、野洲市歴史公園田園空間センターにて、イチゴ新品種「みおしずく」の苗注文者（15経営体、20名）と関係機関（6組織、15名）を対象に、品種特性について説明を行いました。生産者からは「現在試験している内容もできるだけ栽培に反映させたいので、早く試験結果などの情報が欲しい」と要望がありました。

その後、株式会社平和堂の平和堂ファーム「みおしずく」栽培ほ場へ移動し、植物体の状態を見ながら、栽培上の工夫などについて平和堂ファームのイチゴ担当者より説明していただきました。

今回は、JAレーク滋賀管内の生産者と関係機関を対象としたことから、当課と高島農産普及課のほか、大津、湖南、高島の各地域農業センターが連携して開催しました。

研修会では、生産者同士のつながりが生まれており、アンケートへ「市場へ出荷する」、「条件次第で出荷する可能性がある」と回答した生産者が合わせて65%だったことも判明し、今後の産地づくりへ向けてスタートが切れました。